

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	政治・経済	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	最新 政治・経済（実教出版）		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	公共で学んだ知識や技能をさらに深め、よりよい社会の実現のために、事実を基に多面的・多角的に考察し、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論を重ねたりして、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を深めることを目指す。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会に見られる複雑な課題を把握し説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して合意形成や社会参画に向かう力を、身につけている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うと共に、国民主権を担う公民として、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めることができている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	第1部 現代日本の政治・経済 第1編 現代日本の政治 第1章 現代国家と民主政治	政治とは何か、民主政治の基本原理とは何か、などの基本事項を理解し、これから政治に関わっていく主体的な態度を育成する。	○			政治と法の意義と機能、議会制民主主義などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
					○	民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	
5 6	第2章 日本国憲法と基本的人権	基本的人権の保障と法の支配などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	日本国憲法と基本的人権における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	
7	第3章 日本の政治制度と政治参加	議会制民主主義、地方自治など現代日本の政治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
					○	現代日本の政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	
8 9	第2編 現代日本の経済 第1章 現代の経済社会	経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		経済活動について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	経済社会の変容とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。	
10 11	第2章 現代の日本経済と福祉の向上	消費者問題、公害問題、労働問題などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			消費者問題、公害問題、労働問題などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	現代の日本経済と福祉の向上における学習上の課題を、意欲的に解決しようとしている。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 2	第2部 現代の国際政治・経済 第1編 現代の国際政治	国際社会の変遷、国際法の意義、国際機構の役割、国際貢献などについて現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			国際社会の変遷、国際法の意義、国際機構の役割、国際貢献などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	授業態度 課題 ノート・プリント
				○		国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	
1	第2編 現代の国際経済	貿易の現状と意義、国民経済と国際収支、国際協調の必要性などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			貿易の現状と意義、国民経済と国際収支、国際協調の必要性などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	
				○		相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	